

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 熊本警備塾

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数 8

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		スマートな時代に適応した、事業や業務に対応するため、「正確、迅速」を経営理念に掲げ「初動(応急)措置」が取れる人材の育成を、目標に取り組んでいます。								8	9								17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		警備業法、全国警備業協会の指導内容等、遵法精神に努め、具体的には、契約書にも「各種法令に基づいた業務の推進」を明記しています。																	16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		国家公安委員会規則及び警備業法を順守し、県警備業協会の講師部会に所属し「敵正・公平」な教育を行っています。また不正競争行為に関与しない方針を掲げています。										10							16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		お客様の安全安心の付託に応えられる様、警察庁や消防署が主催する講習会や、各種研修を積極的に受講し正しく理解する事で、「安全な地域社会づくり」に貢献できることを、代表自らが責任をもって把握し、活動しています。																	16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		意匠登録されてされている、検定バッジの正しい装着方法に関する指導を通して、知的財産の保護に取り組んでいます。								8.2 8.3	9									16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		全ての教育資料は、PCで管理しています(パスワード、バックアップ)。お客様へは、データーでの配布を行わぬ最低必要な紙ベースで報告しており、配布日、布先も記録化しています。																	16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		契約先への講話を通して、人材育成の必要性や安全安心という信頼の対価が、有形の利益となることを伝え、携わった全ての企業の利益に貢献できるよう、対話を行っています。																16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		お客様に対し、「カスタマーハラスメント」の現状と対策などを、わかりやすく解説指導しています。					5			8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●										9		11		13.1						16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●									8	9											17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		外国人雇用に関する、現状と問題点を、依頼先の業種に適合した研修を実施してきます。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		コロナ禍以降車両での移動が多く、通勤災害防止のため、車両運転の朝は毎回アルコール検査を実施しています。			3					8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		厚生労働省の働き方改革をHPで確認しながら理解し、依頼先企業に指導しています。				5.5				8.5		10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		従業員を雇用していないので、無理、我慢しての労働を防止するため連続3日以上の講習を避け、家事と親の介護の両立での営業に取り組んでいます。			3		5.5			8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		受講生に指導する立場上、さらなるスキルアップのために、企業の倫理、異業種経営者との交流を行いながら、経営者としてまた、人として研鑽を積んでいます。			4	5.5			8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		市の特定健診制度を利用しています。さらには、体力を使う実技指導も行っていますので、スポーツジムでの体力増進、携帯アプリを使ってウォーキングした歩数距離を記録化し、月間12万歩達成にチャレンジしています。			3					8									17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		独立行政法人「高齢者、障がい者、就職支援機構」等のホームページを見ながら、自ら学び、最新の情報を各依頼先の経営者にお知らせしています。			4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		講習会場では、ソーシャルディスタンスの観点から、座席間隔が広くなつた為、プロジェクターのスクリーンを、4K対応90インチと大型化し動画視聴や、WEB会議等に活用しています。			3					8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●						3	4				8	9.1		11	12						
	21	【プライベート企業】 ・プライベート企業に認定されている。	●								3	4			8	9		12						

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 熊本警備塾

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数 8

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		ごみの分別化を徹底しています。廃棄物が出たときは、専門業者に処理を依頼しています。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		簡易計算シートを使用して、電力使用を「見える化」し、具体的にはタップ付きコンセントに取り換え、待機電力節電カットに取り組んでいます。							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		簡易計算シートを用い、温室効果ガス排出量を把握し、会議や打合せは可能な限り電話やオンラインで行うか、又は公共交通機関を積極的に利用して、マイカー利用を抑制するなど、温室効果ガス排出量削減に取り組んでいます。		2.4				7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		防災士として、人吉の豪雨災害以降「どんぐりを植えて緑化、山の保水力アップ」と題した、どんぐりを育てる里親の活動に参加したり、国宝青井神社の杜つくりにも参加しています。					6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		配付資料は紙ベースを減らすために、プロジェクトでの投光に切り替えています。また、マイバックを使用し、レジ袋削減にも寄与しています。								9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		人吉の豪雨災害以降「どんぐりを植えて緑化、山の保水力アップ」として、どんぐりを育てる里親の活動に参加したり、国宝青井神社の杜つくりにも参加しています。		2.4			6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		配付する資料は、枚数を厳選し再生紙に切り替え、必要な資料はプロジェクトでスクリーンやモニター、大型TV投影で行っています。								9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2				6.4						12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		人吉の豪雨災害以降「どんぐりを植えて緑化、山の保水力アップ」として、どんぐりを育てる里親の活動に参加したり、国宝青井神社の杜つくりに参加しています。										11.6 11.7	13.1 13.3		15		17			
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		人吉の豪雨災害以降「どんぐりを植えて緑化、山の保水力アップ」として、どんぐりを育てる里親の活動に参加したり、国宝青井神社の杜つくりにも参加しています。					6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		人吉の豪雨災害以降「どんぐりを植えて緑化、山の保水力アップ」として、どんぐりを育てる里親の活動に参加したり、国宝青井神社の杜つくりにも参加しています。					6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●													12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		脱炭素社会に寄与するために、車をハイブリッド車に乗りかえ、引き電車、バス等の公共交通機関で移動しています。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.2	13.1 13.3						
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●												7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13		17.2

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 熊本警備塾

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数 8

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		契約先のアンケート調査や、聞き取り調査などから、お客様の声を聞き、素早い行動(対応)で課題解決に取り組んでいます。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		講習事業では、模擬テストや一部の参考資料を配布する際は、これまで使用していた字体をUD書体に変更し又、フォントも大きくして見やすくしています。									9.1	10	11.7					17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●				2.3 2.4						7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●									7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。	●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		定期的に送付されてくるユニセフの募金に寄付をしています。また防災士として各種講習を受講し、市の災害ボランティア「やませみ」の会長として地域防災活動にも積極的に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		非常持ち出し品や、防災ラジオ、非常用発電機他防災備蓄を常備して、市からの配布されたハザードマップを確認し、避難計画を立てています。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		町の防災訓練計画に防災士として参加しており、今年度は「身近な古井戸の調査」の提案を行っています。また、町の防災訓練では、「市の防災ボランティア団体」の訓練参加を促すなど、積極的に取り組んでいます。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●											9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		町内役員として、役員会において地域の環境問題(ゴミに関する諸問題等)SDGsの勉強会を実施し、実際のイベント活動で出たゴミや、配布資料の削減活動に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受け入れ】 ・職場体験、インターンシップの受け入れ、職場間連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●						4					8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●						4.4					8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●				2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。